

資料5 特定外来生物記録票

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n001	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8364.91399188121 Y:-108189.47236591	
分布面積 (㎡)	
0.25	
生育場所	
水際	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n002	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8360.81472934802 Y:-108190.265938057	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n003	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8378.33340888153 Y:-108205.542701739	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
陸地	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n004	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8384.35997185603 Y:-108208.168472972	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
陸地	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目		写真
地点番号	ar_n005	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8389.70837446508 Y:-108213.820604579	
分布面積 (㎡)	9.29	
生育場所	陸地～水際	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n006	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8389.37803908893 Y:-108217.953826999	
分布面積 (㎡)	1.00	
生育場所	陸地～水際	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n007	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8392.80071819778 Y:-108221.467038893	
分布面積 (㎡)	4.00	
生育場所	陸地	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n008	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8396.55830430915 Y:-108223.567866869	
分布面積 (㎡)	1.00	
生育場所	陸地～水面	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n009	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8394.08396896559 Y:-108227.67794054	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
陸地	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n010	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8395.82225481589 Y:-108232.557261755	
分布面積 (㎡)	
4.00	
生育場所	
陸地～水際	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n011	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8397.10111238256 Y:-108233.99817395	
分布面積 (㎡)	
0.25	
生育場所	
水際	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n012	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8397.9270828365 Y:-108236.768858862	
分布面積 (㎡)	
4.29	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n013	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8400.59929477073 Y:-108234.976095432	
分布面積 (㎡)	
3.41	
生育場所	
陸地～水際	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n014	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8398.11050926072 Y:-108240.098397281	
分布面積 (㎡)	
6.00	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n015	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8401.95574056578 Y:-108246.29130257	
分布面積 (㎡)	
40.99	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n016	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8407.4502288049 Y:-108254.225975091	
分布面積 (㎡)	
2.00	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	低密度
撮影年月日	2025年10月30日

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n017	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8408.6919234396 Y:-108266.034494472	
分布面積 (㎡)	
66.00	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n018	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8413.43823393848 Y:-108276.784758279	
分布面積 (㎡)	
9.00	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n019	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8409.82672186397 Y:-108279.024042063	
分布面積 (㎡)	
9.00	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n020	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8413.38587620868 Y:-108279.353545938	
分布面積 (㎡)	
24.00	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n021	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8430.51962440075 Y:-108334.667553002	
分布面積 (㎡)	
368.16	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n022	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8447.39089404115 Y:-108410.981634205	
分布面積 (㎡)	
158.90	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n023	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8458.1722189746 Y:-108449.083179821	
分布面積 (㎡)	
82.00	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n024	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8463.65734874598 Y:-108466.445972558	
分布面積 (㎡)	
9.00	
生育場所	
水面	
分布密度	中密度
撮影年月日	2025年10月30日

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目		写真
地点番号	ar_n025	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8467.93965809628 Y:-108488.872820606	
分布面積 (㎡)	123.15	
生育場所	陸地～水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n026	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8475.24937357709 Y:-108512.801611755	
分布面積 (㎡)	17.88	
生育場所	陸地～水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n027	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8477.1485408411 Y:-108524.664944176	
分布面積 (㎡)	41.54	
生育場所	水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

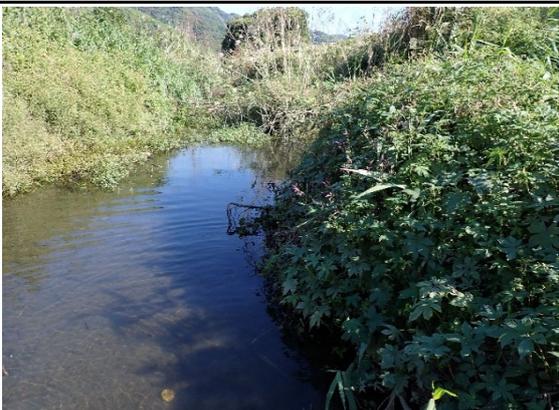
記録項目		写真
地点番号	ar_n028	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8479.44188771263 Y:-108533.658832243	
分布面積 (㎡)	10.79	
生育場所	水面	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n029	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8481.51711306002 Y:-108536.426211378	
分布面積 (㎡)	
4.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n030	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8484.39429559533 Y:-108547.069940811	
分布面積 (㎡)	
32.90	
生育場所	
水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n031	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8482.98690304106 Y:-108546.85226504	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
陸地	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n032	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8483.81119517109 Y:-108550.068468115	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n033	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8487.41419242098 Y:-108557.937745088	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n034	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8487.94903291675 Y:-108562.971949567	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n035	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8491.6725835655 Y:-108564.482046884	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

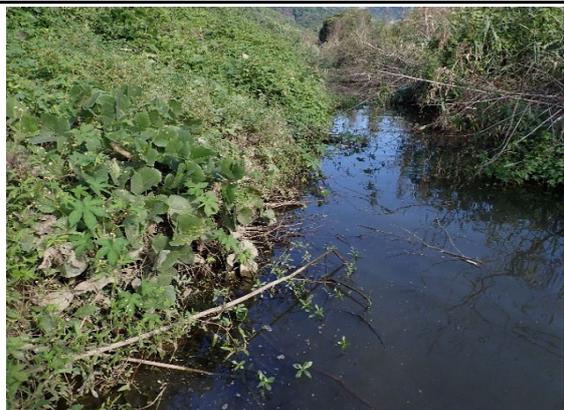
記録項目	写真
地点番号	
ar_n036	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8488.45545017011 Y:-108565.893166136	
分布面積 (㎡)	
4.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n037	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8489.39585122171 Y:-108569.476019417	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n038	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8491.54293044247 Y:-108573.369496592	
分布面積 (㎡)	
4.12	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
中密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n039	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8495.14752899837 Y:-108582.651101913	
分布面積 (㎡)	
8.76	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
中密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n040	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8497.3955624923 Y:-108589.186110563	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n041	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8497.26450719464 Y:-108591.654687282	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n042	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8497.39711207572 Y:-108596.063836669	
分布面積 (㎡)	
11.73	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n043	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8497.2207807116 Y:-108601.08724692	
分布面積 (㎡)	
1.00	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n044	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8501.08257736521 Y:-108608.029274958	
分布面積 (㎡)	
18.55	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真	
地点番号		
ar_n045		
和名		
ナガエツルノゲイトウ		
座標		
X:-8503.49335634498		Y:-108617.622014018
分布面積 (㎡)		
16.11		
生育場所		
水際～水面		
分布密度		
高密度		
撮影年月日		
2025年10月30日		

記録項目	写真	
地点番号		
ar_n046		
和名		
ナガエツルノゲイトウ		
座標		
X:-8505.77350404742		Y:-108628.15750013
分布面積 (㎡)		
27.39		
生育場所		
陸地～水面		
分布密度		
高密度		
撮影年月日		
2025年10月30日		

記録項目	写真	
地点番号		
ar_n047		
和名		
ナガエツルノゲイトウ		
座標		
X:-8508.88567232004		Y:-108625.588425024
分布面積 (㎡)		
1.00		
生育場所		
水面		
分布密度		
低密度		
撮影年月日		
2025年10月30日		

記録項目	写真	
地点番号		
ar_n048		
和名		
ナガエツルノゲイトウ		
座標		
X:-8511.81254853297		Y:-108631.830790414
分布面積 (㎡)		
13.15		
生育場所		
陸地～水面		
分布密度		
高密度		
撮影年月日		
2025年10月30日		

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n049	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8518.3270687147 Y:-108647.308734852	
分布面積 (㎡)	
25.43	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	中密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n050	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8514.27318759759 Y:-108642.046496062	
分布面積 (㎡)	
1.30	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	中密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n051	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8562.32814683581 Y:-108754.901098523	
分布面積 (㎡)	
1134.89	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n052	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8607.27847082962 Y:-108859.287396727	
分布面積 (㎡)	
94.80	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n053	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8619.06250379945 Y:-108893.50803572	
分布面積 (㎡)	
156.66	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n054	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8628.09888224667 Y:-108922.058841924	
分布面積 (㎡)	
67.56	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n055	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8635.22557339653 Y:-108943.535737145	
分布面積 (㎡)	
131.93	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n056	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8642.36554149391 Y:-108964.428631964	
分布面積 (㎡)	
51.24	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目		写真
地点番号	ar_n057	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8654.19616093822 Y:-109004.309991379	
分布面積 (㎡)	288.12	
生育場所	陸地～水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n058	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8666.50469326627 Y:-109030.223360201	
分布面積 (㎡)	1.00	
生育場所	水面	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n059	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8665.74447549715 Y:-109034.386875672	
分布面積 (㎡)	1.00	
生育場所	水面	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n060	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8670.36679999027 Y:-109041.162215571	
分布面積 (㎡)	56.16	
生育場所	陸地～水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目		写真
地点番号	ar_n061	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8676.20901653342 Y:-109048.302607238	
分布面積 (㎡)	5.01	
生育場所	陸地～水面	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n062	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8681.23862518088 Y:-109051.538654425	
分布面積 (㎡)	5.39	
生育場所	水際～水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n063	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8700.78319218007 Y:-109081.772023108	
分布面積 (㎡)	441.75	
生育場所	陸地～水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n064	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8724.11307681243 Y:-109109.2368284	
分布面積 (㎡)	0.25	
生育場所	水際～水面	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目		写真
地点番号	ar_n065	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8728.02669562794 Y:-109116.019258502	
分布面積 (㎡)	31.57	
生育場所	水際～水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n066	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8720.75137868895 Y:-109120.269440062	
分布面積 (㎡)	2.00	
生育場所	水面	
分布密度	低密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n067	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8732.03162922033 Y:-109125.074062791	
分布面積 (㎡)	37.86	
生育場所	水際～水面	
分布密度	高密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

記録項目		写真
地点番号	ar_n068	
和名	ナガエツルノゲイトウ	
座標	X:-8740.35396081647 Y:-109136.975458456	
分布面積 (㎡)	151.30	
生育場所	陸地～水面	
分布密度	中密度	
撮影年月日	2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n069	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8756.6075952041 Y:-109158.246267887	
分布面積 (㎡)	
144.34	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n070	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8769.09479362836 Y:-109171.223710453	
分布面積 (㎡)	
37.27	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n071	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8788.23808154125 Y:-109195.700178909	
分布面積 (㎡)	
233.79	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	高密度
撮影年月日	2025年10月30日

記録項目	写真
地点番号	
ar_n072	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8807.46230936457 Y:-109225.388226916	
分布面積 (㎡)	
34.58	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	中密度
撮影年月日	2025年10月30日

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n073	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8810.66901340844 Y:-109221.193089396	
分布面積 (㎡)	
5.30	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n074	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8822.68965085414 Y:-109241.400344825	
分布面積 (㎡)	
122.58	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n075	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8839.56542774436 Y:-109261.430385413	
分布面積 (㎡)	
78.64	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n076	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8861.5644397784 Y:-109293.455034729	
分布面積 (㎡)	
290.56	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票

記録項目	写真
地点番号	
ar_n077	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8872.03107397606 Y:-109334.198687286	
分布面積 (㎡)	
166.45	
生育場所	
陸地～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n078	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8866.57105412364 Y:-109360.056933858	
分布面積 (㎡)	
13.46	
生育場所	
水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n079	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8873.23786234925 Y:-109382.428527317	
分布面積 (㎡)	
24.97	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	
低密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

記録項目	写真
地点番号	
ar_n080	
和名	
ナガエツルノゲイトウ	
座標	
X:-8866.71939470891 Y:-109379.563426548	
分布面積 (㎡)	
67.69	
生育場所	
水際～水面	
分布密度	
高密度	
撮影年月日	
2025年10月30日	

浅畑川 特定外来生物記録票



図 浅畑川のナガエツルノゲイトウの分布位置と地点番号 (1)

浅畑川 特定外来生物記録票



図 浅畑川のナガエツルノゲイトウの分布位置と地点番号 (2)

**資料6 麻機遊水地ネイチャーポジティブ産官学民連携チーム
ナガエツルノゲイトウに関するアンケート結果
(期間：令和8年1月18日～令和8年1月25日)**

質問①ナガエツルノゲイトウの効果的な駆除実施時期についての回答

回答者	①ナガエツルノゲイトウの効果的な駆除実施時期について (複数選択式)	①ナガエツルノゲイトウの効果的な駆除実施時期について (自由回答)
回答者 1	1月, 2月, 12月	12月下旬から2月下旬にかけて、地上部が枯死しているため(浅畑川と第二工区にて調査の結果)、回収量の削減になる。また、労力の軽減、逆に言えば同じ人数でより多くのナガエの回収ができると考える。重ねて3月末には水面下から新芽が発芽し、ナガエが大変見つけやすくなるため、この時期のモニタリングが最適と思われる。
回答者 2	1月, 2月, 12月	時期については回答者1が回答したとおりです。
回答者 3	1月, 2月, 12月	夏期は人命にかかわるため全く適していない。またドローンによる調査によって、12月は成長量が落ちていることを確認したため冬季が適している。
回答者 4	1月, 2月, 3月, 4月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月	<p>【麻機遊水地について】</p> <p>1 侵入直後(1ヶ月以内)の場所・陸地に根付いていない場所：季節に関わらず発見次第早期に根絶させることが労力も予算も少なく抑えられ効果的です</p> <p>2 陸地に根付いており、水辺の群落を駆除した後、遮光シートを設置する場所： 10～4月。冬季にナガエが部分的に枯れて断片化し、漂着した先で定着することで、分布が拡大します。秋期に水面に張り出した群落を駆除することで分布拡大を抑えることができます。併せて遮光シートを設置すれば、最大3年で地中の根まで根絶することができます。</p> <p>3 陸地に根付いており、水辺の群落を駆除するが、遮光シートを設置しない場合(麻畑川などの流水域)： 9月・台風などの大水により、水辺の群落が断片化して分布拡大することが懸念されます。越流堤を介して川から遊水地内にナガエが流入するため、大水発生前に群落を駆除すれば流入を防ぐことができ効果的です。10～4月については上述の2と同様。</p> <p>4 陸地に根付いており水辺にも群落があるが、遮光シートを設置しない場合(遊水地内などのほぼ止水域)： 10～4月。上述の2と同様</p> <p>【浅畑川について】</p> <p>基本的には麻機遊水地と同様です。大水や台風期前に駆除して第2工区への流入を抑えること、冬季に駆除して枯れた断片の流出を抑えることが重要です。いくつかの地点で水辺に群落が開いています。いくつかの地点で水辺に群落が開いていますが、大水の際に流出する群落はどの地点のものなのかを特定し、その地点の駆除を優先的に行えば第2工区への分布拡散は軽減できると思います。また浅畑川の特徴として、夏～秋期に河川の両岸に陸生の植物が多く茂ります。これがナガエの生育を抑えてくれているので、河川両岸の植生の刈り取りは、特に夏季は行わないほうがよいです。ナガエが生育しているエリアでの草刈りは冬季に、高刈り(地面から50cm程度より上の高さまでを刈る)で行うことで、草刈りによるナガエの飛散を軽減できます。</p>
回答者 5	3月, 4月, 5月, 6月	12月～2月は、見分けが難しく折れやすいし、寒いので長時間水に浸かっているのはきつい。(陸上部の遮光シート張りなら可能か…) 10、11月は、見分けが付きやすく折れにくいが多い。 7～9月は、暑すぎて長時間の作業ができない。しかし、その暑さを利用してシートを張り、陽熱処理ができるかもしれない。 その場ですぐに処理できる小さな群落であれば、季節に関わらず見つけ次第駆除する。

質問①ナガエツルノゲイトウの効果的な駆除実施時期についての回答

回答者	①ナガエツルノゲイトウの効果的な駆除実施時期について (複数選択式)	①ナガエツルノゲイトウの効果的な駆除実施時期について (自由回答)
回答者 6	5月, 6月, 10月, 11月	<p>駆除において重要なのは、(1)拡散させないこと、(2)長期目線で生育にダメージを与えられること、(3)識別が可能なこと、(4)作業がしやすい気候と考えている。</p> <p>(1)の観点からすると、以下の理由から特に冬時期は特に不適と思われる。</p> <p>①断片化のしやすさ 植物体の活性が落ちてちぎれやすくなり、ナガエに触れることによる繁殖体(節・根断片)の拡散リスクが大きい。</p> <p>②繁殖能力を失う可能性 氷点下になれば活性を失うという指摘もあるが、静岡県の場合、気温の低い日であってもナガエが存在する水面下数 10cm まで水が張ることは考えられにくいいため、繁殖能力を失わない断片が流出する懸念が高い。</p> <p>(2)の観点からは、以下の理由で初夏(5~6月)が適していると考えられます。</p> <p>長期目線では、「駆除量>増殖量」を毎年実現することでナガエの増殖を抑えることができます。</p> <p>①増殖量の抑制 1 (地下部に貯蓄している栄養分の収支) ナガエは多年草で、夏に光合成で生産した栄養分を地下部にため込み冬を越し、春にこの栄養分を使って発芽・成長する。初夏に駆除をすることで、地下部の栄養分を使った後、光合成で栄養分を貯め込む前にナガエにダメージを与えることができ、夏場以降の増殖の勢いを削ぐことができる。</p> <p>②増殖量の増加 2 (拡散断片の回収) ナガエの成長期は夏~秋にかけてであるので、その前に拡散断片を回収することで拡散・定着するエリアを縮小することができると考えられる。</p> <p>(3)の観点では、以下の観点から 5~11月が適していると考えられる。</p> <p>ナガエの対策は、取り残しを極力少なくすることと駆除時の流出を防ぐことが肝心で、これらの達成にはまず判別できることが重要である。判別のしやすさは「花>葉>元気な茎>失活した茎」で、失活した茎ばかりになる冬季を避けて駆除することで、効率・効果が上がると考えられる。</p> <p>(4)の観点では、以下の理由で 3~6月、10~11月が良いと思われる。</p> <p>①熱中症の予防 近年気候変動に伴い、夏時期の熱中症リスクが高まっている。麻機遊水地では、クーラーの効いた部屋や休める風通しの良い木陰がなく、熱中症になった時の対応が非常に取りづらい環境であるため、夏時期は避けた方が良い。</p> <p>②低温環境での作業 ナガエ駆除は水中に入る必要があり、水の冷たい冬時期の作業は非常に辛い。特に野外活動初心者には厳しい環境で、大勢を読んで駆除の輪を広げるような活動は不向きと思われる。</p> <p>③台風シーズン 大雨時に水位が上がる遊水地という立地特性上、台風の多い時期は駆除予定が流れることが多く、事前準備等の労力が無駄になるリスクがある。緊急的な防除など、必要性に応じての実施程度が良いと考えられる。</p> <p>以上をまとめると、計画性を持って防除を進めるのに最適な時期は 5~6月である。また緊急的な防除などについては 10~11月ごろでも可能と考える。</p>

質問②ナガエツルノゲイトウの最も拡散リスクの低い駆除実施時期についての回答

回答者	②ナガエツルノゲイトウの最も拡散リスクの低い駆除実施時期について (複数選択式)	②最も拡散リスクの低い月について (自由回答)
回答者 1	1月, 2月	万が一駆除時の断片の流出や取り残しが生じた場合でも、夏季のように短気間で大繁茂につながる可能性は低いため。 (駆除時にはその後のモニタリングが不可欠)
回答者 2	-	-
回答者 3	1月, 2月, 12月	気温・水温が低い時期の方が、拡散したものが定着しにくいと考えたため。
回答者 4	1月, 2月, 12月	12~2月・草刈り等により誤って拡散した場合、冬季は春~秋期よりも生育が遅いため根付きにくい。 ・駆除作業中の拡散リスクが低い時期：流水域は水の流れが少ない時期、風が少ない時期 ・自然現象等による拡散リスクが低い時期：梅雨、台風以外の時期
回答者 5	3月, 4月, 5月, 11月	梅雨や台風の時期は流されてしまう確率が高い。 浅畑川から第3工区へ、巴川から第2工区へと越流してしまうのを防ぐ方法はないものか？ また、第2工区の越流堤があるエリアから樋管を通して別のエリアへの侵入を防ぐため、樋管の前に網を張る等の対策が必要。
回答者 6	5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月	質問①の網掛けの記述参照

質問③工事関係者の駆除作業について（自由回答）

回答者	③工事関係者の駆除作業について（自由回答）
回答者 1	-
回答者 2	一般の除草作業やナガエの駆除作業に携わる方を対象とした勉強会をあらかじめ開催しておくことが望ましい。その上で、特記仕様書に、勉強会に参加した業者などの条件を設ける。できれば、駆除作業に専門家もしくは環境部局の行政職員が立ち会う。
回答者 3	現場の作業員への徹底は難しいため、駆除作業後（数日以内？）にボランティアによる手作業にて拡散したものを撤去する。
回答者 4	1 有識者の現地作業同行 2 ナガエツルノゲイトウの生態や外来生物法についての事前解説 3 使用機材（長靴、刈払い機、重機等）の現地での洗浄（ナガエの移動防止のため）
回答者 5	発注側であらかじめナガエエリアをロープで囲うなどして、誰でも分かるようにしておく。作業開始前と後に必ず立ち会って確認をする。 これは、ボランティアではなく現地のナガエの事をよく知っている専門家に依頼する。 拡散させないためのルールを徹底させる。 仮置きをしない、使った道具（乗用草刈り機のキャタピラ、車のタイヤなども）の掃除の仕方、等
回答者 6	理想は、ナガエに関する知識を有する人物（専門家、対策チームメンバーなど）が同席できると良い。しかし、予算やスケジュールの都合などで難しい場合がほとんどになると思われる。 そのため、作業従事者・責任者に対策の必要性和具体的な方法を事前に情報共有できると良い。体感としては、以下順でトピックを提供できると、理解・協力につながりやすい。 ①丁寧な駆除をしないと、自分たちの生活・仕事はどう困るのか ②どういった作業手順で施工すれば丁寧な駆除が達成できるのか ③作業者として気を付けられる細かいコツはなにか 上記を踏まえた説明順序の実例は以下のとおり。 ①ナガエ拡散の生態的・社会的デメリット（治水・農業・地域資源などへの害） ②作業のやり方・手順（ブルーシート・ネットの設置など） ③作業時の考え方（ナガエの生態） 特に①については、なるべく説明相手の生活や仕事内容に近い話題から説明を始めることが重要だと感じている。「自然・生態系への悪影響」から入りがちだが、「自然・生態系」が工事関係者の職務職責や実生活に直接関係がある人は少数派で、ピンと来てもらえない場合が多い。まずは土木工事の従事者向け対策マニュアル・現場掲示看板データなどを作成すべきだと思う。 なおここからは余談だが、上記のような説明のコツは、土木工事の従事者にかかわらず、農業従事者、流通事業者、河川清掃を担う地域自治会など、どのような主体でも共通して言えるため、遊水地に留まらない抜本的なナガエ対策をする考える際には、各分野で対策の必要性和具体的な方法を記した資料を用意できると良いと思う。 留意したいのは、各関連部局で別々で説明資料などを用意するのは、見解の統一の点で、多分野で連携しての駆除などを行う時のコンフリクトになりうる点こと、そのような事態を避けるため、どこかの部署が取りまとめをして、各部署と連携を取りながら説明・実施マニュアルなどを作成するのがよいと思われる。 環境部局などが取りまとめの中心となっただけだとありがたい。

④その他の回答

回答者 5

ナガエ初認の日から

私が静岡市の浅畑川でナガエツルノゲイトウを初めて見たのは、**2014年9月15日**のことでした。浅畑川は、以前から外来種の見本市のようなところで、この年もヘリポート前の起点周辺はアレチウリとオオフサモが繁茂していました。

麻機には、以前からツルノゲイトウとホソバツルノゲイトウがいて、この場所では前年にツルノゲイトウの小さな群落を確認していたのですが、この日に見つけたものは、ちょっと色艶がよかったです。周辺を探してみると、同じようなものが沢からの三面コンクリート水路にもその片側の畑にもいました。しかし、この日は花を見つけることができませんでした。

そして、**9月26日**、オオフサモに混じっていたそれに、柄のある花を見つけてしまいました。

これが特定外来生物、ナガエツルノゲイトウか！！

前日の大雨で、すでに15日に見た場所から移動していて、さらによく探すとやはりオオフサモに混じって生えている所が数か所見つかりました。

川底は泥が深く胴長で入っても身動きがとれなくなる場所です。それに許可なく採取、移動はできません。何もできない自分に、特定外来生物の取り扱いの難しさを感じました。

そして、県と市に報告して対応を待ちました。

しかし、運が悪いことに**10月5日**、浜松に上陸した**台風18号**によって一帯は道まで水没。ナガエは、上流から流れてきた土砂と一緒に濁流にのみ込まれてしまいました。

水が少し引いた7日、現地を見に行くと、越流提付近のオオフサモは群落ごと大量に遊水地に越流していましたが、ナガエは橋にひっかかってまだ越流提まで達してはいない様子でした。

そして数年間、何も対策がとられないまま放置された浅畑川では、オオフサモに代わってガエツルノゲイトウが優先種に。水面が見えないほどに繁茂し、大雨の度にいくつもの群落がごっそりと遊水地に入っていく姿を見ることになりました。

2019年10月12日、**台風19号**による増水で、ナガエが今までにないほど大量に遊水地へ越流。

2019年10月26日、第3工区中央の道沿いのシンボルツリー・アカメヤナギの大木の横にナガエが漂着しているのを確認し協議会に連絡。**アカメヤナギ周辺のもの、県土木担当者と麻機ウエットランドクラブが一緒に丹念に拾い集めたため、陸地に定着せずにすみしました。**

越流提付近のものは量が多すぎたため、秋の除草の集草作業の中でナガエを仮置きしないよう、袋に詰めて直接焼却するよう伝え、できる限りテープで印をつけましたが、ナガエが何なのか分からない中での作業は、不可能に近かったと思います。

その後浅畑川では、ナガエ60個以上、オオフサモは15個以上の群落を確認。野丈の減勢池に釣り人が作った道沿いにもオオフサモと一緒に点在していて、どちらでもすでに水際には根を下ろしていました。

2020年2月8日、西廣淳先生と学生さん、市・緑地政策課、麻機ウエットランドクラブで、減勢池の縁のひと群落を駆除。

2020年4月のヘリポート前の浚渫では、工事開始後大雨による増水により、流れ防止の網を超えて切れ藻が大量に流れてしまい、浅畑川全域にナガエが定着。工事とナガエ駆除の両立の難しさを思い知る出来事でした。

2022年9月23日夜から24日未明にかけて接近した**台風15号**は、静岡にも甚大な被害を及ぼしましたが、浅畑川も底質が変わるほど、上流から土砂が流れ込み、繁茂したナガエも一気に遊水地や巴川下流に流れてしまいました。第3工区の減勢池に流れ込んだ浮島状の群落は、風によってさらに拡散し、あちこちの陸に漂着、根を下ろしたものもありました。

この台風で、大谷川放水路の植物も一気に流れて、まるで浚渫工事後のようにきれいになっていましたが、**2023年春**になって新たに芽吹き、育ってきた植物群落の中に見事なナガエの行列を発見した時は言葉が出ませんでした。

2023年6月12日 ミズアオイ池近くの群落を市・環境共生課、県土木河川改良課、麻機ウエットランドクラブで駆除。

2023年9月20日 柴揚げ会場のひと群落を柴揚げ保存会、市・環境共生課、緑地政策課、県土木河川改良課、麻機ウエットランドクラブで駆除。

川は当然のことながら繋がっています。巴川の源流部には、弘法の滝があってそこから流れ落ちる水は、第二東名の下を通り、住宅地の中を流れてこの遊水地のあたりで、樋橋川、七曲川、浅畑川、安東川、十二双川と合流し、やがて治水のために作られた大谷川放水路と二股に分かれ、さらに合流を重ねながら清水港に向かっていきます。大谷川放水路からナガエが海流に乗って三保の松原へ…なんてことは考えたくないですね。

追記

浅畑川でナガエを発見した時、静岡植物研究会の前島固女さんから、ナガエは浅畑川に入る以前から巴川の高部親水公園あたりにいるという話を聞き、確認に行ったことがありました。確かにいくつかの川が合流するあたりに群落になっていましたが、なぜここにだけいるのかが不思議でした。

2024年4月13日、親水公園あたりのナガエを確認し、それをたどって上流に進むとナガエがいたのは巴川本川ではなく、巴川と並行して流れる南側の支流（四方沢川）だということが分かりました。

そして、静清バイパスの下を通りさらにさかのぼっていくと、二股に分かれて木材団地の中を流れる川（有度川）にたどり着きました。川というより水路といった方がよさそうな所でしたが、堆積した土砂はナガエの島となり、コンクリート護岸の両側にも根を下ろして、定着してからの年月を感じさせるものでした。有度川は木材団地が終わるところで暗渠となっていてその先を追うことはできませんでしたが、おそらくここが巴川水系で初めてナガエツルノゲイトウが入った場所なのでしょう。

前島さんは、巴川の調査の時に見つけたとのことだったので、何の調査か分かれば、初認日がわかるかもしれません。

資料7 打合せ記録簿

設計業務打合せ記録簿

第1回					追番	1	頁
委託者・印	総括監督員	主任監督員	担当監督員		受託者・印	業務代理人	担当者
事業所名	麻機遊水地保全活用推進協議会				受注者	株式会社環境アセスメントセンター	
件名	令和7年度 麻委第3号 麻機遊水地植生調査等業務				整理番号	1	
出席者	発注者側	静岡土木事務所河川改良課 諸橋主査			日時	令和7年8月8日 13:30-15:30	
		静岡市役所緑地政策課 杉山主査、望月主事			場所	静岡土木事務所	
	受注者側	品川、乗原、岡本、馬場			打合せ方式	会議	
<p>1. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務着手時の打合せとして、業務計画書（案）に記載の調査内容や工程、調査経緯等について説明した。 <p>2. 確認・指示事項</p> <p>(1) 業務計画書（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務計画書（案）の内容は概ね承知したが、下記の点について修正すること。 図 10.1.1 「連絡体制（緊急時含む）」の静岡土木事務所のメールアドレスを修正すること。 <p>(2) 現地調査に関する事項</p> <p><input type="checkbox"/> 現地調査（全項目）に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2-1工区の豊地エリアの調査範囲は、業務計画書（案）の図 1.4.1 「調査対象地」のとおりでよい。 調査対象地のうち、第2-1工区の豊地エリア及び立石エリアが工事中であるため、作業の妨げにならないよう留意すること。なお、業者には委託者から調査実施の旨を通達する。 各工区の立ち入り禁止箇所はない。 駐車場所は以下のとおりとすること。 第1工区：第1～第3駐車場（午前7時00分から午後9時00分） 第2-1工区 安東川：エリア西端の裸地 立石：エリア南西側の裸地 加藤島：エリア中央西側の通路 豊地：エリア南西の裸地 第3工区：観察小屋、北側工事箇所 <p><input type="checkbox"/> 植生調査に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 群落組成調査の対象は、第1工区で直近に実施された令和2年度植生調査において未確認であった新規群落や植生の維持管理が実施されている場所などとする。ことによりよい。 第1工区では、南側の一部で樹木伐採等を行い、その際の残土を盛土している場所がある。また、8月に東側堤防法面で草刈りを予定している。9月以降の草刈り作業の場所・時期は、一般社団法人グリーンパークあさはた（木下様）に確認すること。 <p><input type="checkbox"/> 特定外来生物(植物)調査、浅畑川上流域特定外来生物(植物)調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 受託者は、麻機遊水地で活動する麻機ナガエ対策チームを含む団体が第2-1工区と第3工区でオオフサモ、ナガエツルノゲイトウを駆除した場所について、可能な範囲でとりまとめ、調査に活用すること。 麻機ナガエ対策チームと連携し、特定外来生物調査を実施すること。 浅畑川集水域内にある静岡市沼上最終処分場敷地内（調整池及び水路）と静岡ヘリポート敷地内（調整池及び草地）への立ち入り許可については、静岡市が確認し、委託者に連絡する。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 麻機遊水地の車止めの鍵2本を借り受けた。 現地調査の日程および当日の連絡は、メールで行う。 ヒアリング対象の有識者は、湯浅保雄氏（静岡植物研究会 会長）とする。 <p>3. 今後の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地調査（全項目）：気温の低下が見込まれる9月以降に実施を予定する。 有識者ヒアリング：調査結果のとりまとめ完了後となる12月～1月に実施を予定する。 <p>4. 提出資料</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務計画書（案） 1部 麻機遊水地の自然環境調査の経緯 1部 							

設計業務打合せ記録簿

第2回					追番	2	頁
委託者・印	総括監督員	主任監督員	担当監督員		受託者・印	業務代理人	担当者
事業所名	麻機遊水地保全活用推進協議会				受注者	株式会社環境アセスメントセンター	
件名	令和7年度 麻委第3号 麻機遊水地植生調査等業務				整理番号	2	
出席者	発注者側	静岡土木事務所河川改良課 諸橋主査			日時	令和8年1月30日 13:30-15:00	
		静岡市役所緑地政策課 杉山主査、望月主事			場所	静岡土木事務所	
	受注者側	品川、栞原、岡本			打合せ方式	会議	
<p>1. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書等について説明した。 <p>2. 確認・指示事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書の内容について了解した。 <p>3. 提出資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査報告書 2部 ・ 電子データ (CD-R) 2部 							

資料8 有識者ヒアリング議事録

議 事 録

件 名：令和7年度 麻委第3号 麻機遊水地植生調査等業務委託 有識者ヒアリング

日 時	令和7年12月25日(木) 13:30~16:00		場 所	ふじのくに地球環境史 ミュージアム
出席者	有識者	湯浅保雄氏（静岡植物研究会 会長）		
	委託者	静岡県静岡土木事務所 諸橋主査 静岡市役所 杉山主査、望月主事		
	受託者	株式会社環境アセスメントセンター 品川、栗原		
	同席者	昭和設計株式会社 小池		
資 料	提示資料：有識者ヒアリング資料			
内 容	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 現地調査結果の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋（10月）に実施した第1工区における植生調査（植生図作成、群落組成調査）、第2-1工区および第3工区における特定外来生物調査（ナガエツルノゲイトウ、オオフサモ）、ならびに浅畑川上流域における特定外来生物調査（ナガエツルノゲイトウ）の結果について、過年度調査結果を含めて報告するとともに、抽出された課題および対応策について説明した。 <p>(2) 次年度以降の現地調査計画（案）についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度以降の現地調査計画（案）について説明した。 <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 第1工区における植生調査の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シダレヤナギ植林およびタチヤナギ群集の分布面積が著しく拡大しており、今後、樹林化がさらに進行する可能性がある。 ・ 主に指定管理区域内の除草管理地（セイタカアワダチソウ群落、オギ群落等）においてオオブタクサ群落が確認されており、除草管理を継続することで、今後も分布面積が拡大する可能性がある。 <p>(2) ナガエツルノゲイトウ駆除作業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麻機遊水地第2-1工区、第3工区および浅畑川において、ナガエツルノゲイトウの駆除が実施されているが、単年度の除去では再生・再拡散を防ぐことは困難な状況にある。 ・ 浅畑川では、静岡県が主体となり冬季に予定されている堤防工事と併せて、大型機械によるナガエツルノゲイトウの除去が検討されている。 			

内容	<p>3. 助言内容</p> <p>(1) 現地調査結果及び課題・提案について</p> <ul style="list-style-type: none">・麻機遊水地における植生調査および特定外来生物調査の結果、ならびに課題・提案の内容について、特に問題はない。 <p>(2) 次年度以降の現地調査計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none">・現地調査計画（案）の内容で問題ない。 <p>(3) 植生管理の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none">・部分的な樹林化は現時点では大きな問題ではないものの、攪乱依存型の重要種が出現しなくなるおそれがあるため、攪乱環境の消失には留意する必要がある。・ヤナギ類を放置した場合、樹林化が急速に拡大し管理が困難となることから、遊水地の機能および植生の多様性の観点からも、ヤナギ林化は避け、早期に対応することが重要である。・具体的な植生管理手法については、今後、麻機遊水地保全活用推進協議会において検討・判断する必要がある。 <p>(4) 植生調査等のモニタリングについて</p> <ul style="list-style-type: none">・今後の麻機遊水地の保全・活用に向けて、植生調査等の結果を踏まえた議論が行えるよう、モニタリング成果を整理し、提示することが重要である。 <p>(5) ナガエツルノゲイトウの駆除作業について</p> <ul style="list-style-type: none">・流域全体を対象とした継続的な除去作業により、ナガエツルノゲイトウを低密度で管理していくことが望ましい。・除去作業の実施時期としては、生育が旺盛となる春～秋が適切である。 <p style="text-align: right;">以上</p>
----	--